

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第3回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和8年1月21日(水) 午前10～12時
開催場所	市役所 大会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、蘆田圭、上井千里
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 遠藤一博 教育創造部長 足立英則 学校教育課学校教育担当主幹 兼 教育研究室長 山田恵子 幼保連携課長 上田歌織 幼児教育センター長 橋本恭代 幼保連携課（幼児教育センター）小林木綿子 幼保連携課（幼児教育センター）西村麻衣子 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 第2回視察訪問について(報告) (2) 今年度事業の評価報告について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会
教育長	2 あいさつ
事務局	(資料確認) ここからの進行は、委員長にお願いします。
委員長	3 第2回視察訪問について（報告） 議事の進行が円滑に進むようご協力お願いします。では会議次第

事務局	<p>に従い議事に入る。</p> <p>事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1「令和7年度自己評価資料（各園）最終」</li> <li>・資料2「令和7年度西脇市就学前教育推進事業視察訪問（2回目）」</li> </ul>
委員長	<p>それでは各委員から訪問した園の取組の状況等の報告をお願いします。</p>
各委員	<p><b>【園①保育】</b></p> <p>0,1歳児は、徐々に改善されてきていると思う。まだ先生が主として子どもを動かす傾向は若干強いように思うが子どもたちが選択して遊べるのが少ないので先生が主として動かさざるをえない状況だ。以前から他の委員からも助言があったと思うがまだ課題として残っている。</p> <p>3～5歳児は室内の空間をうまく使えるようになってきている。3歳児は段ボールを使って遊んだり、4歳児は運動会后、5歳児への憧れから「エンドレスリレー」のような遊びがどんどん広がっていた。園庭で異年齢の関わりがあり、憧れをもちながら遊んでいる様子が以前より見えるようになった。</p> <p>5歳児はもう少し言葉のやりとりがあると良いと思った。担任からも「言葉遊びをどう取り入れたら良いか」という質問があったので、言葉の語彙を増やすための「言葉遊び」やユーモアのある絵本等を使い、語感を感じられるようなものがあると良いと伝えた。</p> <p><b>【園①特支】</b></p> <p>1つ目の相談は偏食があり手づかみ食べ、遊び食べになってしまったということだった。見せていただくと上手に支援されていて子どももよく食べていた。子ども自身が食べる物を見て「分かって食べたい」という様子があったので、先生は食べ物を見せてから口元に運び、食べさせてあげてほしいということを伝えた。</p> <p>前回の訪問時に気になっていた男児が今回は集団の中で、流れに沿ってうまく参加できていたので良かった。</p>

### 【園②保育】

0歳児はオープンスペースしかなかったので、乳児が一人、あるいは少人数で落ち着ける「個別の空間」を意図的に作ってはどうかと提案した。

1歳児は落ち葉を使ったダイナミックな遊びを展開していて子どもたちが豊かに遊んでいた。

2歳児はままごと等の環境が良く、非常によく遊んでいた。転がす遊び等も取り入れてみたらどうかと伝えた。

3歳児は遊び込める環境ができていた。葉っぱのグラデーションの掲示があったり、ぱっと見て遊びたくなる環境があったりして楽しかった。

4歳児は2クラスだが、様々なテーマで遊びを進めていた。興味のあることについて皆で考え、テーマに沿って探求的な活動の芽生えのようなものがあり、感心した。

5歳児は、「自分たちで考え判断して活動する」ということを先生が意識されていた。遊びの中で様々なことを考え、想像して活動を進めていた。小学校との交流も行っており、ライブごっこでは、小学生や校長先生も含めてノリノリだった。小学校へ行っても今の主体性を発揮しながら育っていける良いと思った。

### 【園②特支】

診断の有無ではなく、今困っているなら支援を開始することが大切だと話した。特に「見て分かる支援（視覚的スケジュールなど）」を取り入れ、見通しをもたせることで不安が軽減すると伝えた。

話したい意欲は高いが、言葉が詰まる場面があるという相談もあった。話そうと思った時に出る仕草等は、先生をはじめ周囲が理解していれば問題ないことを伝えた。本人は玩具でコミュニケーションをとりながら遊んでいた。

### 【園③保育】

0歳児は保育室にいろいろな玩具を用意し、工夫されていた。

1歳児は、用意されていたマットにもう少し高低差があると良いということと、できるだけ子どもたちが体を動かせるようにしてほしいと伝えた。また「安全に隠れられる場所」を意図的に用

意できると良いと伝えた。

2歳児は、グループに分けて少人数で安心して遊べる環境を作っていこうと伝えた。

3歳児は、1回目の助言を受けコーナーを上手に分けておられた。徐々に落ち着いて遊べるようになったと思う。

4歳児は、先生が話し合いや協同を意識されていた。子どもたちはグループで活動しながらコミュニケーションがとれていた。今後いろいろなグループを試してみることで、互いに認め合いができるようにしていくと良いということを伝えた。

5歳児は子どもたちがいろいろな段取りを決めたり、自立できたりするよう援助されていた。ドキュメンテーション作成も頑張っておられた。子どもたちがいろいろなことを自分たちで考え、できることが少しずつ増えてきていて良い傾向だと思う。

#### 【園③特支】

相談は、周囲とのトラブルが多いということについて。先生や友達への身体接触が多いが、根底には「遊びたい」「関わりたい」という欲求があるように思った。適切なスキンシップの機会を意図的に作ることで、頑張っている周囲の子をしっかり認めることで、本人の行動変容を促すと良いのではと伝えた。

#### 【園④保育】

0,1歳の担任の先生は手作りの玩具・環境を含め、一生懸命考えておられた。その中で子どもが「何をして遊んでいるのか」「何を楽しんでいるのか」を見る力がつくと思った。遊んでいる子どもを見た時に、「楽しそうだな」だけでなく、「引っ張ることを楽しんでいるのか」「持って入れることを楽しんでいるのか」等を立ち止まって考えてみると良いとアドバイスした。

2歳児は、先生が「皆の前で話をする」ということを意識しておられ、インタビューの機会をつくられていた。その中で「自分の質問の仕方がワンパターンになってしまう」という悩みをお聞きした。繰り返し同じことを子どもに尋ねると良いと伝え、同じ質問でも子どものその時の気分によって変わってくると話した。

3歳児も豊かな環境があり、その時期に合った遊びをされていた。子どもたちが自分で「好きな遊びを選び、好きなように遊べる」環境設定をされていた。

4歳児は、先生が自然物を使って遊ぶことを意識しておられたが、「制作」を中心にイメージしがちで悩まされていた。ドングリの皮をむく・穴をしてみる等、自然物そのものに出会う経験も良いと伝え、その参考に図画工作の教科書等を見ることを伝えた。図工の單元では「触り心地・発見」が教科書にある。そこからヒントも得られると伝えた。

5歳児は、子どもたちが「お化け屋敷を作ろう！」と遊びを進めていた。もしこの遊びが3月まで続くとしたらどんなお化け屋敷になっていくのか尋ねた。その後の展開で、子どもたちが飽きずにやり続けようとするなら、どんなことが考えられるかアイデアを膨らませるよう促した。

#### 【園④特支】

他園でもお伝えしたように、診断ありきではなく、支援ありきで考えましよう伝えた。

奇声が出ることや怒ってしまうことがあるという相談もあったが、環境変化によるストレスもあるように思った。本人の頑張りを認めつつ必要な配慮事項を丁寧に引き継ぐことが大切だと伝えた。

#### 【園⑤保育】

0歳児は、毎月のように新入園児をうけいれているため、落ち着かないという相談があった。安心できる環境を作るため、家庭でよく遊んでいる玩具を室内に置くことを提案した。

1歳児はジャンプ等、体を動かして遊べるようなスペースを保育室に作ることを提案した。

2歳児は、先生方の保育に対する思いや子どもに経験させたいこと等が手作り玩具に反映されていた。質問があった食事面については、食具をうまく使うことも大事だが、まずは食を楽しむと良いとアドバイスをした。

3歳児の環境は、コーナー作りやアイテム選びを工夫していて良かった。食事場面で、ミカンの皮がむけず皮ごとかじってる子がいた。低年齢の頃から指先を使った遊びを取り入れる等の経験の必要性があることを再認識しそのことを伝えた。

4歳児は、少し見えにくい位置にあった教材棚を、子どもがすぐ使える位置に変えることを提案した。先生がその場ですぐに動

かされた。今後活動がどう変化が楽しみだ。

5歳児は、遠足で行った須磨シーワールドのごっこ遊びが展開されていた。今年度5歳児は、染物遊びが盛り上がり、染めた作品を物品販売した経験がある。その経験から白の靴下を染めてチンアナゴを作っていた。染め物遊びが年間通じてされており、先生方も一緒になって取り組まれている姿が素晴らしいと思った。

#### 【園⑤特支】

「かまってほしい」「注目してほしい」ことについては、不適切な行動には過剰に反応せず、落ち着いている時や適切な行動をしている時にこそ、保育者から積極的に声をかけ、十分に承認することが大切だと伝えた。

イメージする力が弱く、友達の絵をまねすることについての相談は、学習の多くは模倣から始まることや、まねをすることを否定せず肯定的に捉え、声をかけることで、少しずつ自分なりの表現へ広がるようにすることを伝えた。

#### 【園⑥保育】

0,1歳児は、手作り玩具をたくさん作られていたが、新しいアイデアを求められていたので、写真を見せて伝えた。室内遊びの様子から、体を動かす遊びが足りていない感じたので、運動会で使用した段ボールの箱車があったため、それを引っ張る遊びを提案した。

2歳児は、先生のリーダーシップのもと体操をしていたが、支援のいる子にとって難しいところがあり、できている子は口で励まし、支援の必要な子に先生が関わることも必要ではないかと伝えた。

3歳児は、前期の助言で手作り玩具を増やすことを提案していた。後期では手巻き寿司の玩具が作られていた。また活動の中で、子どもがすぐにゴミを捨てられるような工夫をされていた。小さなことだが、その気付きは保育の中でとても大事だと思った。

4歳児は、先生の言葉選びが上手で子どもたちの心に残るような言葉かけをされていた。

5歳児は、先生が対話をしながら保育をされていた。生活発表会の絵本題材を子どもたちと決めていた。生活発表会でのねらい

を伝え、ねらいに沿った絵本を子どもたちが持ってきて話し合っていた。

#### 【園⑥特支】

ランニング活動では、ボールを持って走ることで目的がはっきりと意識でき、終わりも分かりやすいという支援をされていた。

歩行バランスを保ちにくい子どもについては、周囲の理解と、移動動線にゆとりを持たせることや、手すり代わりに使えるように机を配置することなどの環境調整を行うことを提案した。

#### 【園⑦保育】

0歳児は、壁をうまく利用しながら高いところを意識した環境作りや座って遊ぶ玩具の工夫など、子どもの発達に合わせてよく考えて環境を作っていた。

1歳児で机上遊びが必要かという質問に対して、机上遊びというものを位置づけることで、「これは机上ですもの」という意識が生まれてくることを伝えた。

2歳児は、絵本の読み聞かせ中に立って先生の方に来る子がいるという相談があったが、読み聞かせは集団で読むだけでなく、1対1で読むことも考えてもらいたい。また、先生の方に来る子が邪魔をするのではなく、興味があり絵本の世界にのめり込むことで前に来ているのであれば良いと伝えた。

3歳児は、牛乳パックとプールスティックでアスレチック遊びができる環境を作っていた。3歳児になると室内でダイナミックに体を動かすことは難しいが、トンネルのようにくぐること等は良いアイデアだと思う。前期訪問でままごとコーナーで見立てられる物を用意することを提案した。後期ではそれを用意されていた。しかし量が多いため、投げて遊ぶ子が出てきたということで、環境があれば良いということではなく、先生も一緒に遊び、見本を見せる等、環境を使ってどのように遊ぶのかを考える必要があると伝えた。

4歳児は、先生が集団をかなり意識しながら保育を進められていた。子どもたちが輪になって話をする時に、体が支えられず話を聞けない子が多いという悩みがあった。1年生でもその状態で30分間座ることはしんどいが、それを4歳児に求めているかと

問いかけた。まずは人の話を聞くよりも自分が言いたい気持ちをどんどん出していくことを意識しても良い時期だと伝えた。  
5歳児は、小グループで話し合いながらお話の世界を自分たちで作りに上げていく活動をしていた。劇遊びへの取組につながり良いと思った。この方法が園の文化として根づくの良いと伝えた。言葉遣いや友だちの悪いところを指摘することについての質問では、「フワフワ言葉とチクチク言葉」の取組や、絵本の活用をすすめた。

#### 【園⑦特支】

切り換えが難しい子については、クラスの活動でトイレに行き、終わった子からマットの上に乗るといように、場を変えることで活動を切り換えられていて、とても分かりやすい支援をされていて良かった。

加配の先生がついているが、不適応を起こしているケースについては、主担と他児たちだけで活動が進んでおり、主担からのアプローチはなく、他児との関わりもないように感じた。友達の注目と関わりを求めていることを伝え、本児が参加したくなる活動を取り入れ、集団側が本児を待ったり呼びに行ったりして「子ども同士のつながり」を再構築することを行ってほしいと伝えた。

#### 【園⑧保育】

0歳児は、先生方が穏やかに子どもたちに関わっておられた。食べないことについての相談があった。保護者の様子を聞くと「食べさせないと」という思いが強く出ているのではと感じたので、大人がゆったり構えることが必要だと伝えた。また面倒でミルクをあげているという保護者に関しては指導が必要だと伝えた。

1歳児は、週1～2回しか園に来ない園児がおり、保護者が園に行くより家にいる方が楽だと捉えられていた。しんどいと思わないということはネグレクトの可能性もあるのでよく観察しておいてほしいと伝えた。

2歳児は、全員で油粘土で遊んでいた。先生のねらいは1つでよいが、遊びはいくつか用意して子どもたちが好きを選んで遊べる環境を用意したら良いと伝えた。

3歳児は、マクドナルドごっこをしようとハンバーガーを作っ

ていた。セロテープを使う経験が少なくテープを切ることが難しい子がいた。今回ハンバーガーを作る時にたくさんの工程があり、ハンバーガー1個作ることでいろいろな経験ができるのではないかと思った。

4歳児は、先生自身が作ることや保育を楽しんでされていると思った。子どもたちに、失敗する経験もさせていてとても良かった。

5歳児は、レストランごっこをしていた。初めてだったため、困りごとが子どもたちの声から出てきていた。すごく良いと思った。視察訪問で完璧な姿を見せるのではなく、プロセスを踏んで保育をしている場面をあえて見せていただき、とても良かった。

#### 【園⑧特支】

体が動いて話を聞きにくいというケースだったが、話を聞く活動の直前に、体を動かす「ミニ活動（ペアでの触れ合い遊び等）」を導入したことで、その後の集中力が高まっていた。今後も「動」から「静」への切り換えをルーティン化すると良いと伝えた。友達同士でもサポートしている姿も見られ、良い関係だと伝えた。

#### 【園小接続内容】

第2回の視察訪問は学校行事等と重なり、半数ほどしか訪問できなかったため、今委員の先生方からの報告をお聞きし勉強させていただいた。学識経験者の先生方の意見や的確なアドバイスを現場の先生方がダイレクトに聞くことができるしっかりとした体制が組み立てられていることは本当に良い取組だと思う。小学校にもつながっていくところである。

訪問したどの園でも子どもたちが目をキラキラさせて活動し、命のエネルギーを感じた。また園の先生方も委員の訪問を待ち構えておられ、悩みを相談されたり、前回の指導訪問でのアドバイスを生かしておられたりする様子を拝見した。

環境面では手作り玩具や自然物等、安全面に細心の注意を払いつつ、季節を感じられる素材等が効果的に配置されており、子どもたちの興味・関心、やりたい気持ちを大切にされていると感じた。また子どもたちが主体的に遊べる環境づくりは、小学校の学びにつながる主体的な姿を育てていると感じた。

	<p>また指先や手首の動き、発音でいうと舌の動き等のアドバイスも委員の先生方からあり、改めてそういう基本の部分の重要性も再確認した。</p> <p>園小の連携という面では、園で図工や生活科の教科書を活用されている様子も見られた。また本校では園の先生方が1年生の学習に対して深く関心を寄せていただいていることもありがたい。そのように園小の接続を意識して子どもたちに関わっておられることも質の向上につながっていると感じた。</p> <p>子どもたちには、存分に遊び、いろいろな体験をし、たくさん褒めてもらい、「やりたい!」という気持ちや意欲をもって小学校に入ってきてほしいと思う。</p>
委員長	意見交換、質疑応答、全体的な所感等があればご意見いただきたい。
委員	全体としては良くなっている。
委員	手作り玩具がかなり増えてきている。既製品にない良さが手作りにはあるが、先生方は時間を割いて作っておられるので、これだけの玩具を作ることを当たり前にして良いのかとも思う。手作りできる時間を勤務時間にとれると良いと思うがどうか。西脇市は加配の先生はどのような形でクラスに入っておられるか。
事務局	1対1で付いているところもあるが、大半はクラスに1人という形だ。
委員	加配の先生がクラスに付いていても、時間によって他クラスへ入ることもあると思う。予算等もあるが、体調不良等での休みの対応や、気持ちにゆとりを持って手作り玩具を作ることができる人員配置ができると良い。先生方の負担を考えると、助言で手作り玩具を作ることを勧めて良いのかと悩む時がある。先生方は本当によく頑張っておられると思う
委員	まだまだ言語だけに頼れない発達段階の子どもたちへの、こども園の先生方の関わり方はすごいと思う。勉強になり良い機会をいただいた。

	<p>一方で少し気になる点があった。就学先が決まっていたり、加配の先生が付いていたりする子についての相談ではなく、これから就学先や加配の先生を付ける等の相談があった。今後の課題として基本的な障害理解の研修の必要性を感じた。</p> <p>PDCAサイクルがどの園も回っている。資料2や、各園の視察訪問提出資料の内容を見ても、文章が細かく丁寧に書けていると思う。その点では質の向上委員会として、随分質の向上が図られてきていると評価して良いと思う。</p> <p>その一方で、今後の課題として各園が自分たちの力で質の向上をすることを市としてどのようにコーディネート・後押しをしていくかが大事かと思う。例えば、資料2を数年分各園に提供することで、各園の保育資料となる。園として年齢ごとに大切にすべきことが資料として残り、園の文化として根付いていけるように後押しできると思う。担当をしたことがない年齢を担当する時に、昨年度の担任からの引継ぎはあるが、その時にその資料が資源になるので検討してほしい。</p> <p>もう1つの視点として、認定こども園教育・保育要領の改訂検討に向けて幼稚園教育要領、保育所保育指針改訂の検討が始まっている。改訂した後からその部分を深めていくのか、改訂に向けて少しずつ自治体として意識付けをしていくのかというところを次年度に考えていく必要がある。</p> <p>各こども園の自走について、次期改訂に向けて、どう取り組んでいくのかについて、市内共通カリキュラムのあり方について等の課題を今年度2回目の視察で感じた。</p> <p>資料3 令和7年度の視察訪問アンケートについて事務局から説明をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>資料3 「視察訪問アンケート」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート内容について</li> </ul> <p>資料4 「令和8年度視察訪問提出資料（案）」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の変更点</li> </ul> <p>について協議いただきたい。</p> <p>資料3の視察訪問アンケート「今年度の資料作成」に関して、</p>
	<p>事務局</p>

	<p>「勉強になる」「分かりやすい」という意見もあったが、資料作成が負担だという意見もあり、簡素化の必要性があるのではと第2回委員会でもお話いただいた。資料4でご検討いただきたい。</p> <p>アンケート集計で▲は検討事項である。特別支援で、個別の課題に注目しがちだが、インクルーシブ保育について見ていかなければいけないという貴重な意見もいただいた。</p>
委員長	<p>「・」が率直な感想、「▲」が検討内容ですが、意見やお気づきの点はあるか。</p>
委員	<p>先ほどの検討課題、「個別の課題に注目しがち」という点で、その通りだと思う。いわゆる医療モデルではなく社会モデルで障害理解をしていくことが必要だと思う。インクルーシブ保育はとても大事な視点であり、その視点を持ちながら今後視察訪問へ行きたいと思う。</p>
事務局	<p>「資料作成についての負担」については資料4をご覧ください。令和8年度の視察訪問での提出資料案については園長会でも案として図り、園長先生方からは了承をいただいている。後ほどご意見をいただきたい。</p> <p>○視察訪問の提出資料（案）説明</p>
委員長	<p>資料3・4について検討する。</p>
委員	<p>悩んでいること、頑張ってきたこと等は、書式を先生方にお渡しして、委員が預かる形になるか。</p>
事務局	<p>はい、そのように考えている。</p>
委員長	<p>他に意見はあるか。なければこの方針で次年度行う。</p>
事務局	<p>4 今年度事業の評価報告について 事務局説明</p> <p>資料5「自己評価報告書作成」について</p> <p>○報告書（案）内容説明</p>

委員長	質問・意見等はあるか。
委員	保育内容以外の報告書は字数等の決まりはあるか。
事務局	特になし。
委員	承知した。
委員長	続いて協議事項3 その他について
事務局	<p>5 その他について</p> <p>資料6「令和8年度のスケジュール（案）」</p> <p>資料7「令和7年度施策訪問希望調査（案）」</p> <p>資料8「こども園保護者アンケート」</p> <p>昨年同様、園小接続についての質問も加えた保護者アンケートである。各園配布済みで1月30日を回答期限としている。</p> <p>昨年度からオンライン回答になったが、紙面でのアンケート回答を希望された園が2園ある。他園については少しずつ回収されている。アンケート結果については、各園には締切後、本年度中に送付する。、市としては8園の意見をまとめてホームページに掲載予定。4月の第1回目委員会でご意見をいただきたい。</p> <p>参考資料 「幼児教育センター通信『つなぐん』」について</p> <p>今回配布している10号から12号は公開保育について書いており、小学校にもデータで配布し、小学校の先生方にも見られるようにした。</p> <p>10号は、公開保育についての意義を伝え、小学校の先生も見に来ていただけるようにお誘いした。11号、12号は、活動のねらいや内容に加え、担任が大事にされているところをお伝えし、保護者に様子を伝える時の材料としても使っていただきたいと思い作成した。自分の子どもが通っている園がこのように考えて保育しているということが保護者に少しでも伝わればと思い作成した。</p>
委員長	1点目は令和8年度のスケジュール、2点目は視察訪問の希望

	<p>調査、3点目は保護者アンケート実施状況、4点目はつなぐんこれについて意見や質問はあるか。</p> <p>「つなぐん」はホームページにアップされているか。</p>
事務局	<p>幼児教育センターのホームページの中にある。</p>
委員長	<p>今回は公開保育のことが特集になっているが、各園の保護者は「つなぐん」の存在を知っているか。</p>
事務局	<p>センターからは伝えていない。園からの発信は分からない。</p>
委員長	<p>保護者への周知が気になる。西脇市は園小接続について積極的にしていて、「つなぐん」という通信も出しているが、保護者にされていないことはもったいない。何か告知方法はないか。</p> <p>各園にデータを送付しているか。</p>
事務局	<p>各園に送付している。</p> <p>園によっては全て印刷して、先生方に回覧されている園もある。</p>
委員長	<p>保護者への周知につながると良いと思った。</p> <p>他の委員の先生方は。</p>
委員	<p>つなぐんをバインダーに挟み、各園の玄関にかけておくと保護者に見ていただけるかもしれない。先生方の負担にならないようであれば設置し、新号が出たら更新してくようにするのはどうか。</p>
事務局	<p>提案したい。</p>
委員長	<p>以上で議題が終了した。みなさんの円滑な審議、御意見に感謝する。進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>6 次回開催予定</p>

	<p>次回の会議は、令和8年4月23日（木）午前10時から市役所4階中会議室にて予定している。視察訪問希望調査の結果、各園からの意見を踏まえ令和8年度の就学前教育推進事業の方法などについてご協議いただきたい。</p>
部長	あいさつ
事務局	7 閉会 以上をもって、本日の会議を終了する。